

あつし塾長の

子のやる気 親の気づき

〇〇66



今年も中総体が終わったところから、入塾希望者が増えてきました。小学低学年からの「つまずき」をそのままに、「できないこと」をたくさん抱えてやってくる中学生が少なくありません。

先日でも中の男子が入塾しました。私は成績

お手伝い

表の得点を見て「数学が大変だったね」と優しく声を掛けました。「文章題が苦手と言うけど、つまずきは分数、いや小数だね」と指摘すると、照れながら「はい」とほほ笑みました。「数学の応用力をつけてもらいたいのですが」とお母さま。私は「応用を教えるのは構いませんが、小学校の基礎でつまずいていますよ」と答えました。「円の面積

「ペケの奨励」を大切に

は？」と質問してみました。彼は一瞬キョトンとした後ハツとして「半径×(掛ける)半径×3.14」と。「よし！では、三角形の面積は？」と続けたら「うーん、180度」と答えました。隣に座っていた母親も驚いて息子の顔を見ました。

私が「面積だよ。度ははないだろう？」と促すように話し掛けても彼は「三角形は180度」と首をかしげていました。

ゆとり教育世代の子どもたちの「つまずき」を見ていると、面

日常に学びのヒントあり

積と角度の区別のように自分たちを取り巻く日常を意識せずに、無々「できること」を積み重ねて行く。現行の学校教育は、小学校の低学年から年々難しくなることを積み重ねて行く。間違ったことを褒められた子どもたちは駆け足で戻り、カリカリ鉛筆を走らせませす。子育て・教育には小さい成功と小さな失敗をものとし、現実的に



by yoriko

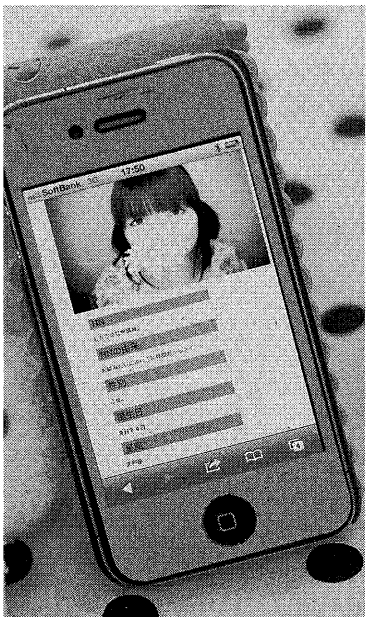
教育

親も知らない。プロ 子どもとケータイ

10

「アイドルの○○くんタ
イスキ！」モデルの○○
兼は申し…。

う。アクセス数が上がると
うれしいですね。見てくれ
じゅんじゅん。



勝にな か り 20

子ども向けの解説本
「日本のもと 日本語」

言葉知れば豊かに

